

児童発達支援・支援プログラム

作成日 令和6年8月30日

事業所名	児童デイサービス にじ	営業時間	8時30分～17時30分まで	送迎実施	あり
法人理念	・利用者様のニーズに応じて安心、安全なサービスを提供します。 ・地域社会に必要とされる福祉を目指します。 ・利用者様、従業員が楽しさを感じながら共に成長しあえる支援を目指します。				
総合的な支援の方針	・専門的な医療ケア・療育を受け、発達を促し充実した生活を送る事ができる。				
主な行事	・季節の行事・クッキング・避難訓練・地域行事参加・家族行事・イベント参加。				
職員の資質向上	・働きながら資格取得を目指す者に対する研修受講支援、業務関連専門技術研修の受講支援。＊療育に必要な研修へ積極的に参加し、研修で学んだことの情報共有・アウトプットも交え事業所内研修を行う。 ・当事業所の理学療法士の資質向上の目的に、専門理学療法士（ポジショニング・呼吸リハ）が定期的に来所し、より専門的な人材育成を行う。 ・県・市町村・事業所（感染症・災害・身体拘束・虐待）等研修へ参加し専門分野を学ぶ。				
項目	支援目標	支援内容内容※5領域の視点「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」			
健康 (医療的ケア)	・健康状態を把握。	・日々のバイタルチェックを行う。＊家族から自宅での様子をしっかりと引継ぐ。＊個々にあった体調管理を行う。 ・医師指示書に基づいて、必要に応じた医療的ケアを行う。＊排痰・呼吸助介・体位ドレナージ等。 ・睡眠・食事摂取・排泄・着脱支援を支援行う。 ＊週に一回提携医来所。児童の体調・気になる事等の相談する。 ＊吸引機、呼吸器、カンガルーポンプなど、必要に応じた医療機器の支援を行う。			
運動 リハビリ支援	・ADLの向上。 ・姿勢と運動・動作の向上。	・理学療法士による、個々に合わせた（訓練）支援を行う。 ・個々に合わせたポジショニングを取り、ADLを促す。 ・少しずつ経験を増やし、目的的な動きの習得を促す。 ＊ボトムリフティングを通して、自分の体を覚える。			
感覚 認知 コミュニケーション	・認知の発達の習得。 ・物と言葉のマッチング。 ・発語の習得。	・たくさんの職員と触れ合い、愛着形成を育みながら情緒の安定を図る。 ・遊びを通して、感覚や認知の習得。 ＊五感（視覚、聴覚、視覚、味覚、嗅覚）を刺激し認知の習得を促す。 ・活動、声掛けを通して言葉のマッチングを行う。 ・遊びや感覚刺激の中から発声を促し、コミュニケーションを繋げる。 ・活動の中で自分の気持ちを伝え合い、順番など学ぶ。＊個から集団活動で繋げる。			
家庭支援	・相談しやすい関係つくる。 ・日々の情報共有を行う。 ・兄弟支援や家族の時間を作る。	・日々の気になる事などの相談を受ける（医ケア・療育）等。 ・連絡帳やラインなどを使い、写真など使用し様子を伝える。＊気になる事は主治医へ相談できるよう一緒に考える。 ・兄弟の行事・受診等参加できる環境作りを行う。＊レスパイト・利用時間の調整等行い、家族の休息時間を作る。			
地域支援 移行支援	・各機関との連携をとる。 ・地域情勢を見ながら、交流へ参加する。 ・進学など新しい環境に慣れる。	・モニタリングや、担当者会等を行う。進学に向け、学校等と連携を持ち移行支援を行う。 ＊次へのステップ。進学など新しい環境にワクワクできるよう支援する。 ＊必要に応じて福祉関係者と連携を取り、情報共有を行い支援する。 ・散歩などを通して、地域交流・探索を行う。			